

15:1 そのころ、パリサイ人や律法学者たちが、エルサレムからイエスのところに来て、言った。
 15:2 「あなたの弟子たちは、なぜ昔の先祖たちの言い伝えを犯すのですか。パンを食べるときに手を洗っていないではありませんか。」
 15:3 そこで、イエスは彼らに答えて言われた。「なぜ、あなたがたも、自分たちの言い伝えのために神の戒めを犯すのですか。
 15:4 神は『あなたの父と母を敬え。』また『父や母をののしる者は、死刑に処せられる。』と言われたのです。
 15:5 それなのに、あなたがたは、『だれでも、父や母に向かって、私からあなたのために差し上げられる物は、供え物になりましたと言う者は、
 15:6 その物をもって父や母を尊んではならない。』と言っています。こうしてあなたがたは、自分たちの言い伝えのために、神のこぼを無にしまいました。
 15:7 偽善者たち。イザヤはあなたがたについて預言しているが、まさにそのとおりです。
 15:8 『この民は、口先ではわたしを敬うが、その心は、わたしから遠く離れている。
 15:9 彼らが、わたしを拝んでも、むだなことである。人間の教えを、教えとして教えるだけだから。』
 15:10 イエスは群衆を呼び寄せて言われた。「聞いて悟りなさい。
 15:11 口にはいる物は人を汚しません。しかし、口から出るもの、これが人を汚します。」

15:12 そのとき、弟子たちが、近寄って来て、イエスに言った。「パリサイ人が、みことばを聞いて、腹を立てたのをご存じですか。」
 15:13 しかし、イエスは答えて言われた。「わたしの天の父がお植えにならなかった木は、みな根こそぎにされます。
 15:14 彼らのことは放っておきなさい。彼らは盲人を手引きする盲人です。もし、盲人が盲人を手引きするなら、ふたりとも穴に落ち込むのです。」
 15:15 そこで、ペテロは、イエスに答えて言った。「私たちに、そのたとえを説明してください。」
 15:16 イエスは言われた。「あなたがたも、まだわからないのですか。
 15:17 口にはいる物はみな、腹にはいり、かわやに捨てられることを知らないのですか。
 15:18 しかし、口から出るものは、心から出て来ます。それは人を汚します。
 15:19 悪い考え、殺人、姦淫、不品行、盗み、偽証、ののしりは心から出て来るからです。
 15:20 これらは、人を汚すものです。しかし、洗わない手で食べることは人を汚しません。」

律法を形式的に守って自己義認に陥っていたパリサイ人は、その抜け穴を考えては、都合のよい解釈をしていました。自分を正当化する人は、都合の良い解釈や偏った解釈で、決まりごとを利用するのです。そのようなことをしていないか、吟味しましょう。

イエス様は、何を食べるかなどといった行いによって、人が汚れるのではなく、内側かの罪が人を汚しているのだといわれます。自分自身の心に汚れや罪がないか、よく考えて

みましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は抜おうとおられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

